

第1回 避難訓練（子ども達へお話ししたこと） 令和6年5月1日（水）

今日の避難訓練では、みなさんに勉強してほしいことが2つありました。

1つ目は、「新しい教室からの避難の方法・経路・避難の基本を身につける。」

2つ目は、「災害発生時の行動の仕方。放送を静かに聞き、だまって行動する。」
でした。

皆さん、今の教室から どうやって避難するかわかりましたか？

今日の訓練では、「火災の発生場所」はどこだったでしょうか？

（「火災の発生場所」覚えていた人は、だまって手を挙げてもらう）

ここへくるためにどこを通るかわかりましたか？

避難の基本は4つあります。合い言葉は「お・か・し・も」です。

お…おさない か…かけない し…しゃべらない も…もどらない

以前、校長先生が務めていたある中学校で、朝の部活動をしている体育館で火災がおきました。三階建ての大きな体育館で、二階と三階ではバスケット部、バレー部、卓球部の生徒が活動していました。一階にある部室からの出火でしたが、天井まで燃え盛る炎を前にして、消火に当たる先生、生徒たちを避難誘導する先生、消防署へ通報する先生などその場にいたみんなが迅速に動いてくれたおかげもあり、生徒も職員も誰一人ケガもせず全員無事に避難することができました。この時、強く思ったことがありました。

それは、生徒たちは普段から部活の顧問の先生や仲間のお話を「だまって真剣に聞いて行動する習慣」が身につけていたから、突然の火災・いざという時でも、ちゃんと指示をきいて安全に避難することができたのだと感じました。

校長先生が何を言いたいか、もうわかった人もいるかと思います。

訓練の時だけではなく、普段から、毎日の授業、朝の会や帰りの会、集会や行事のとき、皆さんは前に立つ人の話にちゃんと「目と耳と心をかたむけて」聞いていますか。前に立つ先生や友だちが話しているのに、勝手にしゃべったり、手遊びをしたり、ふざけていたりすることはありませんか。

学年を問わず、できている人はできていると思います。その毎日の繰り返しがやがては自分の命を守ることに繋がっているのだと私は思います。

避難訓練は命を守るための大事な訓練です。これからも命を守るために「日頃から」自分には何ができるかを考え、答えが見つかったらそれを続けていきましょう。

今日も顔を上げてしっかりお話しを聞いてくれてありがとう。これでお話を終わります。